

定 一 部 金 貳 錢
一 月 五 錢
三 月 十 五 錢
六 月 三 十 錢
一 年 六 十 錢

廣 告 五 錢
字 體 十 二
行 字 五 十 錢

休 日 大 祭 日
休 日 大 祭 日
休 日 大 祭 日

福 島 縣 石 城 郡 平 町 長 橋 町 三 五
發 行 所 常 警 日 新 報 社
電 話 六 三 〇 番

日 刊 發 行 家 國 籍 人 川 崎 文 治
本 社 下 同 番 地 (電 話 六 三 〇 番)
印 刷 所 常 警 日 新 報 社

常 警 日 新 報

刊 夕 日 三 廿 月 十

倫理と感情 (一)

桑原英之助

堯風蕩蕩野老謳歌
舜日熙熙漁人鼓棹

明治大正の道德的意識が
昭和の道德的意識よりも堅
實であつたとは一概に論ず
ることは出来ないものであら
うが、現今の世間相なるも
のを深刻に眺めて見ると、
國民の道德的意識が堅實に
進展しつゝあるや否やは大
なる疑問である、古來政治
家の出處進退は公正を貴ん
だのであつた、それが現今

では其の動機に不純なるも
のがあつたやうになつた、市
會や議會の議員なるものは
くべきものである、それが
疑獄に疑獄を生むといふ状
態である、殊に青年學生は
將來の國民として大なる責
務あるにも拘らず、勢を厭
ひ逸を貪るの傾向次第に増
加し甚しきに至つては矯激
なる思想を抱く輩さへ現は
れてくるのである、たゞこ
れ丈の事實を見ても億兆太
平を樂むと云ふ時代とは大
分懸隔があるやうである、
かうした好ましからぬ空氣
を馴致した原因は多様であ
つて、或は精神的文化が衰

へて物質的文化が盛となつ
た爲めであらう、或は經
濟や其他の事情が反動的運
動を容易ならしめた爲め
もあらうが、又一面から見
れば我が倫理思想のリーダ
ーたちの頭腦の使ひ方が間
違つてゐた爲めであつたか
のやうにも見ゆる、此の最
後の點は我等の如き倫理と
始終するものの黙過するこ
との出来ない点であると思
ふから、私の考を述べて見
たいのである。



和久井屋
電話〇五番

絕對に!!
ハグヌ コハレス
萬年食器
一度御使用を願へ
ば必ず再度の御注
文を頂ける事を疑
ひません
何卒御来店下さい

蓄音器・貴金屬
會田時計店
平町四(電三六三)

東京行進曲
目下……
帝都流行の
ジャズソング
波浮の港の歌手
佐藤千夜子嬢が
心地良き
管絃伴奏奏で
ピクチャーレコードに

梅毒 淋病
皮膚病 婦人病
門專
腸胃病 胃性病
院醫科 院醫科
(七〇一話電町南平)

素晴しい好評!!
婦人世界選 (圖案ハ全國一流ノ大家)
壹萬五千圓大懸賞付(空クチナシ)
足利近代調銘仙大賣出し
婦人界推賞(名作カラ暗示ヲ得タ)
大懸賞々品付空クチナシ

八王子 高級文藝銘仙大賣出し
特長 一、何レモ最高級ノ糸最高級
ノ染料 生地ハシナヤカデ非常ニ丈夫デス
一、藝術味溢レル柄行揃ヒニテ秋流行ノ先驅ヲナス逸
品デス
一、柄ガ良ク、巾ハ充分デ、丈ガ長ク、而シテ廉價ナ
上ニ興味深ク大懸賞品付デス

平町鍛冶町 吉田屋呉服店
電話壹貳壹番

詳細ハ店內並ニ婦女界婦人世界十月號ニ發表シテ御座
イマス

御存じですか?
驛前新道通りの
ダイヤ堂
時計眼鏡 鈴木時計店を
販賣修繕 呼出電話八〇五番

市原醫院
平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

耳鼻咽喉科専門
場所 (舊診療所裏通り)
台津醫院
平町仲田町(電話五五九)

一殺多生劍
巨匠藤大輔監督
土曜學生慰安デー 中學生金十錢 小學生金五錢

ひたよ 君、見違
い、洋服を求めた
いや……コレガネ……
いや……

正札堂
アハハ……

正札堂

映 1 直待と丑松七卷
寫 2 百面相十二卷
順 3 一殺多生劍十二卷

料金普通 平 館

◇日活現代派超大作映畫
監督……伊奈 精一
我等が小杉勇主演
悲劇情緒百面相
うらぶれ滅びゆく大江戸の
名残り、其の名残りを獨り
止めて淋しく泣く寄席藝人
の涙

助演者 梅村蓉子 其他
常警 梅村蓉子 其他

映畫往來所載
忠巨描畫
次匠松本常男
原作……松本常男
監督……佛生寺彌作
鳥羽陽之助 楠英二郎
芝居に有名な直待と丑松
御家人には鳥羽陽之助、高勢
杉浦、花柳、吉野など美人の
活躍

是れは耳寄りな話

二百餘の人を求め

各炭礦が需要期を控へて
平紹介所が斡旋
平職業紹介所にては昨今石炭の需要期に向へ各炭礦何れも活況を呈し初めた爲め郡内七六炭礦に向つて求人の有無を紹介した處磐城炭礦の内郷坑及び小野田坑を合して五十名、入山採炭が州名、福島炭礦州名、大日

米質の改良に依り

二十五萬圓の増收

平穀物検査所では石城郡農會と協力して生産米の品質改良を圖るために生産米の検査を奨励する事になつた
石城郡に 於ける水田は九千三百町歩、平年作による收穫は十六萬餘石、現在の價格に見積ると約五萬圓であり郡内に於て消費するものをのぞいても一ヶ年二十五萬餘石を他に移出する能力を有してゐるのであるが他方部に比較して

押通す

村落に向つて
一せいに検査
石城郡下の印紙税法違反者は依然根絶せず平稅務署が二十日までに處分したものは四百五十餘件に達し早くも昨年中の一割五分増しを示したが本年度違反者の特徴は都會に比べ村落に多いこととで判取帳は五年通帳は三

販賣米の二十五萬俵で二十五萬圓の増收を見る事が出来る事 になるべく平穀物検査所では、に着眼し農會と協力して米質の改良を圖る事になつたのでこの計劃は頗る期待されてゐる

年位無印紙で押通したものであるのに鑑み近く村落に向つて一せいに検査を断行することになつた

人心劇開演

平町の免因保護團體たる平

廿數名の大賭博

昨日梅香町に警風一陣

廿二日午後二時頃平町梅ヶ町瓦職木田安五郎方にて廿數名が車座となつて丁半賭博開帳中の由を聞きし警官五名現場に踏み込んだが

平町鎌田町小林安次郎(五)石城郡上野野村賭博前科一犯高木成好(三)同郡夏井村同一犯坂本春介(四)の三名を逮捕せるのみにて他は何れも戸障子を蹴破り何れへか逃走し去つたと

雑種地拂下金

回収されず

最後の手段を
石城郡三阪村内卅餘名に對し平稅務署は昭和元年から同三年迄に雜種地の拂下を行つたが此の金額九千三百圓が仲々回収されないの



鯛の南蠻焼

添へ汁
材料 鯛五切、日本葱二本、表出し、砂糖、醬油

自營會にては卅日午後五時より聚樂館に於て筑前琵琶應用の新派人心劇を開演する由であるが右は犯罪を豫防すると共に社會の落伍者である氣の毒な免囚を善導する趣旨に基くものである

検査の結果

成績が不良
平、植田、四倉、富岡各警察管内自動車二百四十九臺は去る十八日から昨廿二日迄平町八幡小路舊警中グラウンドにて車體検査中であつたが其結果廢車又は修理を要する爲め使用を禁せられたるは九十臺、近く再検査を要するもの十九臺、自發的に廢車せるもの九臺で成績極めて悪いと

織物稅違反

間稅課員總出
平稅務署では間稅課員總出鯛一切は皮をつけたまゝ、骨があらましたら骨を抜き鹽をふりかけて暫く置いてから金串を平打にし炭火にかけて焼きます、火が通りましたらくしをとりに皿に盛り付ける皿にのせます、葱は汚れた部分をとり水洗ひしてから二寸位の長さに切り揃へくしを打ち炭火にか

赤井嶽遊園

着々實現に
磐城の名所赤井嶽の開發計劃は若松縣會議員等の手で考案中だつたが漸く出來したので實行に着手したがまづ郡道を縣道に編入して大改修をなし神社を中心とする三百餘町歩を禁獵區にし頂上には大グラウンドを設け一遊園地化する計劃で禁

大演習に備ふ

線路を警戒
茨城縣下に行はれる陸軍特別大演習に對し平警察署ではいよ／＼來月十日から常磐線並に警越東線各列車の移動警察の萬全を期する外各署總動員で警戒する事になつた

耳の鬼

水車小屋の悲劇
群馬縣吾妻郡中之條町大字市城半澤憲作妻かく(九)は二十一日午後二時長男清吉(三)と共に自宅裏の水車小屋で小麦粉をひいて居る内右の袖を齒車に捲きこまれあはやく挽き殺されんとしたのを清吉が健氣にも母親の袖を捉へて引き出さんとしたが却て片方の車に觸れて頭部を強打して即死かくは右手上胸部を挫折し著衣は右肩先より齒車のために刺ぎ取られ生命危篤である

稲刈り急げ

郡農會の注意
平地方は二三日来ソロ／＼稲刈りが始まつたが郡農會の談に依れば稲刈り期が遅れると米の品質が悪くなり收穫が減じ且つ藁もよくななるから早く着手する様に努むる事をお勧めすると

來年の日記が

もう店頭に出た

今年もあと二ヶ月

夷祭りも過ぎて歳事も霜月にはいと日毎刻がる、カレンダーの残り少いのが氣が揉むやうになるが今年もあと二ヶ月を残して來年の日記はもう平町の各本屋の店頭を賑はし始めた

例年出版される種類は凡そ百五十種で是等のもの全部の出揃ふのもあと一ヶ月と残さないであらう、日記出版の親玉博文館に行つて見ると机上用の常用日記は紙

大衆用の懷中日記は二十七錢から四十八錢まで學生向きには英文常用日記一圓英文懷中日記八十錢がありまた小學生日記の四五錢は紙も良く入り附録も八増頁された

家庭日記九十錢は眞紅色の絹表紙で表は色箔の模様押で美しい事は日記界で出色のものであらう

それから本年創刊されたと云ふ新四六判の婦女日記は令嬢方に愛好されるべき頗る情緒的なもので林唯一畫伯の装釘に成り内容は季節別

の色刷、上欄には感傷的な戀の詩や愛の歌其の他多くの美文を掲出し一見柔媚の感じの深い品であるせはし新装の日記を見るともう何處かに春が脈打つてゐる氣がされる

北東の風
午前晴れ
午後曇り